

農学部のキャリアガイダンスの内容と実施方法について

1. キャリアガイダンスの実施方法

農学部のキャリアガイダンスについては、「佐賀大学 キャリアガイダンス実施のためのガイドライン」にもとづき、教育委員会が統括する。各学科・コースは教育委員会及び就職委員会の助言にもとづき、キャリアガイダンスを実施する。

2. キャリアガイダンスの内容

各学科・コースは下記に示すキャリアガイダンスを実施する。

a) 応用生物科学科

	正課教育	正課外教育・イベント
1 年次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学入門科目（必修）において、当学科の全研究室の専門分野を説明し、その上で、学生自らの将来の職業を意識させるように指導するとともに、キャリアデザイン入門、キャリア教育（OB・OG 講話）を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーションにおいて就職について説明する。
2 年次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物学実験（必修）の 1 テーマとして、民間会社の工場や試験場等を訪問させ、実践的な職場状況を見学させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業研究（必修）の為の研究室分属の説明会を開き、卒業研究の方法とともに、就職について説明を行う。
3 年次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分属した研究室ごとの演習において、専門領域と自己のキャリアとの関係を把握させる。 ・ 授業科目「インターンシップ I」「インターンシップ II」（選択）を開講する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農学部就職ガイダンスに学生を参加させる。 ・ 各種就職説明会に参加させる。
4 年次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業研究（必修）において、専門分野で自立するための問題発見・解決の方途を学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種就職説明会に参加させる。

b) 生物環境科学科

	正課教育	正課外教育・イベント
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入門科目（必修）において、学科内のコース（生物環境保全学コース・資源循環生産学コース・地域社会開発学コース）の内容と教育研究分野内容を紹介して、1年次末にコースを選択させる。その際、コース毎に就職の概要を紹介するとともに、自己の将来像を描かせる。また、同科目内でキャリアデザイン入門、キャリア教育（OB・OG講話）を実施する。 	
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ・コース毎に、教育研究分野の内容を紹介し、2年次中に、教育研究分野に分属させる。 ・専門科目の授業（必修および選択）を通じて農業関連の職業を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各コースの専門内容に関連する事業所や施設を視察し、職業観を要請する。
3年次	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップⅠ、Ⅱ（選択）として、学生が希望する職場で職業体験をさせる。 ・専門科目（必修および選択）の授業を通じて農業関連の職業を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農学部就職ガイダンスに学生を参加させる。 ・各種就職説明会に参加させる。
4年次	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究（必修）において、専門分野で自立するための問題発見・解決の方途を学ばせる。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種就職説明会に参加させる。

c) 生命機能科学科

	正課教育	正課外教育・イベント
1年次	<ul style="list-style-type: none"> 「大学入門科目（必修）」において、キャリアデザイン入門、キャリア教育（OB・OG 講話）を実施する。 食品衛生コースの講義を積み上げ方式で開講する。 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーションにおいて就職について説明する。 教育委員ガイダンスを3回実施し（4月、7月、翌2月）、生命機能科学科の就職状況および就職先等の情報を提供する。また、食品衛生コースについて説明する。 チューター面談を実施し、進路指導を行う。
2年次	<ul style="list-style-type: none"> 「生命化学概説（必修）」、「食糧科学概説（必修）」の中で生命化学および食糧科学の分野と社会とのつながりを考える機会を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> チューター面談を実施し、進路指導を行う。 教員志望の学生に対して教職チューターを配置し、面談を実施する。
3年次	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップ I、II（選択）を通して実際の企業活動を体験し、進路について考える機会を与える。 	<ul style="list-style-type: none"> チューター面談を実施し、進路指導を行う。 研究室紹介を企画し、その中で研究および進路について説明する。 食品関連企業の見学会（日帰り研修）を企画し（9月）、就職活動の参考にさせる。 農学部就職ガイダンスに学生を参加させる。 各種就職説明会に学生を参加させる。
4年次	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究（必修）において、専門分野で自立するための問題発見・解決の方途を学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種就職説明会に学生を参加させる。